

# アートコラボで多様性ある未来を描く

## 名張市立北中学校美術部とアトリエ彩がコラボした「未来へのカタチ」

名張市百合が丘東にあるワークプレイス栞ギャラリーで、名張市立北中学校\*美術部とアトリエ彩とがコラボレーションした企画展、「みんながアーティスト展 RAINBOW」が3月末に開催されました。北中美術部顧問の吉兼亮教諭から申し出があって実現した、年齢や障害を越えたアートによる交流。互いの感性に触れることで深まる理解や広がる創造性など、アートを通じた交流は文化的価値を向上させ、多様性ある地域の発展を育くむ未来へのカタチとして、期待が高まります。(\*文中では「北中」と表現します。)

今回の企画は、吉兼教諭が昨年8月、名張市の美術を担当する先生方での研究会でワークプレイス栞ギャラリーを訪れたことから始まりました。普段、発表の場が少ない部員達に、学年末に向けた活動の目標になればと今年に入って申し入れをされ、年度末の開催が実現しました。



企画展のテーマ「RAINBOW」は、北中美術部員がいくつか提案しアトリエ彩で選んだもの。北中とアトリエ彩、現在と未来そして年齢や障害を越えた多様性につながる「虹の懸け橋」になればとの願いが込められています。



今回は、北中美術部部員21人の作品約50点と、アトリエ彩のアーティスト16人の作品約30点が展示され、ギャラリー中央に向かい合って置かれた、北中美術部員1年生3人によるテーマ作品「Rainbow Arts」と、アトリエ彩による「何が産まれるかな?」と題したオブジェは、企画展が果たす意味深さを象徴しているようです。(裏面続く)



# 名張育成会の活動、ひとつずつ!

各施設の様子をお伝えする「MiRAiレポートブログ」から  
選り抜きの話題をご紹介します。

はてなブログ MiRAiレポート 検索

## 施設入所支援(成峯)

## イベント～琉球の音色と風～



春を迎え、保護者も参加して食事会イベントを開催しました。今回はゲストとして「かりゆしブラザーズ」にお越しいただき、演奏会を開きました!写真からも音楽が聞こえて来ようですね。

さて、成峯の建物は中庭が吹き抜けになっているので、二階からもじっくり演奏を見ることができます。また、ベトナムから来た技能実習生さんもノリノリで盛り上げてくれました。豪華絢爛なお弁当に舌鼓を打ち、ジュースで乾杯!ピクニック気分ですね。春到来です!

## いが児童発達支援センター(れいあろは)

## れいあろはの給食



れいあろはでは、調理員が毎日子どもたちの給食を作っています。給食の時間が近づいてくると、いい匂いがしてきます。作っている様子も見えるため、「おなかすいた〜」「今日のごはんなあに?」などと言って覗きに来るお友だちもいます♪

たくさん遊んだ後は、お待ちかね!給食の時間。いつも出来立ての温かい食事。1人1人の子どもに合わせた、食べやすい大きさにして提供しています。

子どもたちはみんな、たくさん食べてくれます。「ごちそうさまでした」「いっぱい食べたよ!」と伝えに行き、「すごいね、ありがとう」と調理員さんに褒めてもらえ、とても嬉しそう。

調理員さんは、子どもたちが美味しく食べてくれるといいなどの思いで、様々な工夫をしています。いつも温かい美味しい給食をありがとうございます!

今月紹介した記事はすべて、「MiRAiレポートブログ」に詳しく掲載しています。ぜひご覧ください。

ブログはコチラ▶



## 伊賀圏域障がい者就業・生活支援センター ジョブサポートハオ

## 「新社会人の為の学習会」を行いました。



ハオでは3月末、4月から新しく社会人になる登録者に向けて、社会人登録者の先輩に色々なお話をしてもらう「新社会人の為の学習会」を行いました。

「職場の人とのコミュニケーションが苦手」というと、「中々話しかけられない」「話しかけ

られても、答えられない」などがすぐ思い浮かぶと思いますが、今回お話し下さった方は、学生時代のようにすぐに距離を詰めて話をしてしまい、そのため人間関係がつまづいてしまったという内容でした。

一口にコミュニケーションが苦手と言っても色々な場合があり、またハオには同じような仲間がいるのだな〜と感じて下さったと思います。会社の人、家族、先輩たち、そしてハオも新社会人の皆さんを心から応援しています。

## (表面より) 「虹の懸け橋」への願い



テーマ作品「Rainbow Arts」。学校にあった廃材を利用したリサイクルアート。虹が広がり、上っていく様子が表れています。



たまごをイメージした「何が産まれるかな?」と題したオブジェ。どのような才能が産まれてくるか楽しみですね。

北中美術部部長の耕田桃花さん(新3年生)は、「多くのコンテストに入選している作者と肩を並べて展示され、わ

くわくしてとても嬉しい」。また吉兼教諭は、「アトリエ彩の作品には息遣いを感じるし、生徒の作品も生き生きして見える。この気づきを今後、発展させていければ」と、抱負を語っていました。

未来へのカタチに向け、虹の懸け橋に向けた取り組みが始まりました。(取材:広報委員会)

